

発行
 沖縄県教職員組合
 島尻支部
 八重瀬町新城 1280-1
 発行人
 末次正二郎

沖教組 島尻情報

2015年
 1月30日(金)
 第288号

新しい年のスタートにあたって

支部執行委員長 末次正二郎

新年明けましておめでとうございます。
 希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。



さて昨年は、「教員評価システム」の賃金への反映、今年4月からの月例給平均2%引き下げなど、受け入れがたい提案が次々になされました。学力向上推進の取り組み強化など競争原理にどっぷりと漬かった教育施策が相変わらず押し進められ、授業時数の増加・授業内容の大幅増により児童・生徒、教職員の負担が増すばかりで、現場の多忙化、教育の歪みが増大されそうな状況です。

また、沖縄の現状においては、辺野古新基地建設に反対する翁長新知事が誕生し、衆議院選挙においても反対を掲げる4氏を全勝させることができました。普天間基地は早期閉鎖、移転するならば県外・国外へと保革の枠を乗り越えての共通の願いとなり、明確に新基地建設反対との県民の意思が示されました。しかし、平和を願い、民主的な社会実現を願う私たちに対する現政権からの風当たりがさらに強まるであろう情勢です。私たちは、それに屈することなく、粘り強く、撤回に向け、活動を継続していかねばなりません。

幸いにも沖教組は新規加入がここ数年増加傾向にあります。我々教職員がさらに連帯を深め、声を上げ行動し続けることで、問題の悪化に歯止めをかけていると強く感じます。将来を担う子供たちのために良い教育が行えるよう、少しずつでも待遇改善、現状の改善を勝ち取り、一人でも多くの仲間と手を取りあえるような運動を進めていきましょう。



教職員の定数改善に関する要請(島尻教育事務所)6/2



学級開き講座(みな一の)4/5



辺野古新基地建設反対県庁包囲行動(県庁周辺)10/9

**2014年度第3期支部
 組織強化・拡大運動実施中!**

(1月5日～3月31日)

- 分会(学校)や専門部で新規加入の促進を!
- 積極的な声かけで仲間をふやそう!
- (今年度の新規加入目標 50名を突破しよう!)

第61次支部教育研究集会記念フォーラム

多くの成果と情報を共有！明日からの実践に生かそう！

第61次の支部教育研究集会の記念フォーラムが、11月7日(金)、島尻教育会館みな一の2Fホールで行われました。



「ゆたかな学びをどう実現していくか」を柱とし、子どもたちが社会の中で必要な「学力」を講師の西本裕輝琉球大学准教授、星野人史 NPO 学校法人珊瑚舎スコール代表を招き、さまざまな視点から沖縄の学力問題について考える会となりました。

西本氏は「基礎的生活習慣と学力が密に関係している」と話し、学校だけの取り組みでは「点数」は改善しても、継続した学力につなげるのは難しく、家庭の協力が絶対に不可欠であると、沖縄の児童から得たデータを示しながらの報告がありました。



星野氏は「自分を創る学力」と説き、「子どもが消費者になり、誰かが楽しませてくれるのを待っている。想像力が欠如している。」と話し、今現場で求められているのは「点数」ではなく「表現力」と、日頃の実践例を紹介しながらの報告がありました。

フォーラム後半は末次正二郎支部執行委員長と与那覇晴美支部女性部副部長も登壇し、実際の現場での様子や日頃の教職員などの現状を報告してもらい、その問題点や対応方法を参加者からの質疑や意見交換をしながら会が進み、今後の「学力」のあり方をお互いの視点で探ることができました。



記念フォーラム参加者からの声

日々、「こなす」ことだけにとらわれがちだったけれど、この会に参加したことで普段立ち止まって考えることのできない教育の目標や視点に向き合うことができました。参加したことで色々な考え方に触れることができ、現状を知ることができ、とても有意義な時間となりました。

基本的な生活習慣と学力が密に関連していることを改めて感じました。私も食育という視点から子どもたちに「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを伝えてきましたが、家庭を変えることは難しいと痛感しています。

いろいろな方の意見を伺うことで、視野を広げることができました。18時開始は、なかなか早いです。是非参加したいと思ったし、実際、参加して良かったと感じています。あとは、今後、自分の働き方にもどう生かしていくかだと思います。

仲間との交流で連帯・親睦の大切さを実感!!

参加したからこそ見えてきた!それぞれの思い!!

九州協議会「臨時採用教職員交流会」in 大分に参加して
高嶺小分会 組合員

九州各県の組合員の方々と会い、現状や色々な思いを聞かせてもらいました。初めて知る事や今まで間違った認識をしていたのに気がついた事、やはりそうだったかと言う事等、様々な内容の濃い交流会だったと思っています。

オープニングでは大分教組臨採部の皆さんが、臨採教員の日頃ありがちな事例を寸劇で見せくれました。とても共感したのと、大分教組臨採部の結束力の素晴らしさと勇気を感じました。自分の身分の懸念からなかなかできる事ではないはずですが、とても堂々とされて組合員としての誇りを勉強させてもらいました。



日教組組織・労働局長藤川伸治先生からの講演は、労働法を中心に根拠の元から、「憲法・法律上の権利は主張しなければ実現しない」「労働組合がもっと法律を学び、それを活用した交渉をする事で前進する」等、説得力のある内容でした。「臨採の問題は組合全体の問題」という主張をされた時、私自身がとても心強くなり、思っていた事は間違っていないかと自信が沸きました。

その後、分散会に参加し、私の参加したA班では九州各県の臨採の先生方から待遇や学校での在り方の現状、児童生徒への思い等を話し合いました。分散会では本当に共感だらけでいっぱいでした。

それぞれ働く地域や場所は違いましたが、思いや目標は同じだったと言う事がわかりとてもメンタル的に支えになった事が多々あり、気持ちをしっかり持ち前進のみだと言う事を更に感じ、これからの行動にだしていきたいと思っています。

(感想より抜粋)

青年部主催「見に行こう福島ツアー2014」に参加して
阿波連小分会 組合員名

今回、福島ツアーに参加する機会を与えていただき、「百聞は一見にしかず」という言葉を体で感ずることができました。震災から3年が経ち、復興に向かっていだろうと軽く考えていた私にとって、衝撃的な光景でした。

安全よりも経済効果が優先され、便利さを追求するあまりに人の命が軽視されてしまった結果を見たような気がしました。それは、原発の問題だけでなく、私たちが住む沖縄の基地問題にも、世の中で起こっている様々な問題にも深く通じるところがあると気づかされました。

このような機会を与えていただき、福島の実状を一部ではありますが、知ることができました。この経験は、わたしの財産です。私の心には、ある一つの言葉が響いています。「あなたは、震災の時なにをしたの?と問われたときに言えるようにしたい。」という案内をしていただいた先生の言葉です。私も一人の人間として、一教師として、今回のツアーを見てきただけで終わらせることのないよう、しっかり考え、震災のときに何かをしたと言えるように生きたいと思います。

(感想より抜粋)



辺野古では今何が起きているのか?

翁長武志新知事が誕生し、2ヶ月近くが経ちました。普天間基地の辺野古移設に反対する知事が誕生し、先の衆議院選挙では4区全てで移設反対の候補者が誕生したにもかかわらず、移設は着々と進められています。

今月13日(木)、キャンプシュワブ第1ゲート前で、辺野古基地建設阻止行動が行われました。平日朝8時からの集会にもかかわらず、続々と人が集まり始めたその時、ゲート前に集まった人を囲うように警察車両が駐車され、その隙間を埋めるように警察官200人余りが人の鎖を作り始めました。集会参加者は身動きが取れなくなり、その囲いの中からは出ることも、そこに入ることも許されない状態になりました。密集した人の中で気分が悪くなり、倒れる人すら外に出られない状態がしばらく続きました。



(抗議の声を上げている人々を警官が囲う)

参加者の中には国会議員や県議などもおり、集会を行うので速やかに囲いを解いて欲しいとの要望にも全く反応せず、上からの指示でしか行動しない警官の様子をまるで戦争でもしているかのようでした。

「移設反対」の民意が示された中、弱いものいじめでもしているかのようになり、事が進められていく現状。本当にこれでいいのでしょうか。新たな基地で真の平和が訪れるのでしょうか。私たちは「教え子をふたたび戦場へ送るな」の合言葉の下、今後の動向を厳しく見守っていかなければなりません。時間が許せば、ぜひ辺野古を訪れてみて下さい。

第55回島尻母と女性教職員の集い

2015年2月14日(土) 14:00～

ところ：島尻教育会館みな一の2F

※参加費無料※

演題：「自分らしく輝くために」

～性別で分けられない名簿は1人ひとりが見えてくる～

講師：澤岷 良心 (メンタルコーチ)

1981年沖縄県那覇市生まれ。「自分らしく生きる」を決心し、母と妹にカミングアウト。さまざまな悩みを乗り越え、人にやさしく輝く人生を送っている。性同一性障害というギフトから学んだ行き方で1人1人が「自分らしく輝く」ことを応援している。

アトラクション：豊見城中ダンス部

島尻支部 TEL：998-6250

☆みんなが集会を成功させよう☆

「フッ化物洗口」を考える学習会に80人!

今月24日(土)午前10時から、那覇市のていりる大ホールにて、公衆衛生学博士の里見宏氏を迎え、今学校現場に導入されようとしている「フッ化物洗口」について、那覇支部との共催で学習会を行いました。歯科でよく使われているフッ素ですが、その有効性と安全性について広く学び、学校で実施した場合の問題点を確認できた会となりました。

参加者からは「全く知らないことばかりだった」「しっかりみんなに広めたい」との声も聞かれ、今後も他支部と連携し、「フッ化物洗口」の情報を組合員に提供するとともに、その導入に反対していきたいと思います。

新規加入者奨励金、申請しましたか?

みなさん!分会(学校)で新規に組合員が加入した場合、歓迎会等を開くのに、分会オルグ費(¥5,000)とは別に、本務¥5,000、臨任¥3,000の奨励金が出るのをご存じですか?詳しくは支部までお問い合わせ下さい。

支部の業務時間は9時から17時45分 ※現場より1時間遅くしてあります。